

九谷焼窯跡展示館

九谷焼窯跡展示館には、博物館と、石川県の工芸・九谷焼の復興において重要な 1824 年に造られた陶器窯がある。九谷焼は、大胆で精緻なデザインと印象的な色が特徴的な、石川県の郷土陶芸だ。

九谷焼は 1650 年代に九谷村（現在の加賀市の一部）にある、たった一つの窯で始まった。しかし、1700 年代初期に制作は停止してしまった。それから 1 世紀以上の後、ある豪商がこの芸術形式を復興させたいと望み、初めの九谷窯の近くに一つの窯を造った。その 2 年後の 1826 年に、彼はその新しい窯を現在の場所に移した。この窯の創造は、九谷焼の復興の鍵となった。

この博物館は、幅広い年代の九谷焼や、道具や技法の資料も展示している。訪問者たちは、自身の陶器への絵付け体験を通して、九谷焼の工程について学ぶことができる。窯で焼かれた後、ここで造った陶器は、作り手の家に郵送される。